

〈特集：研究者識別子 ORCID〉

Scopus の著者識別機能と ORCID との連携

高橋 昭治*, 恒吉 有紀*

【抄録】 研究成果を正確に把握するための要件として名寄せ問題が注目されている。著者の文献リストのソースとしては、研究業績データベースや、最新文献が自動的に収録される書誌データベースなどがあるが、前者にはデータ登録の著者の負荷やデータの最新性の問題があり、後者には、同姓同名、同一著者の別表記などの名寄せ問題がある。本稿では、その両方の解決策となりうる Scopus の著者識別機能と、Scopus から ORCID への文献取り込み機能について紹介する。

【キーワード】 名寄せ問題, Scopus, 著者識別機能, 著者フィードバック, ORCID, 研究業績管理

1. 名寄せ問題

個々の研究者の研究成果（文献リスト）を最新かつ正確に公表する仕組みは、報告者である研究者にとっても、研究の出資者にとっても、功績を正当に評価し、説明責任を果たすために重要である。それには、各論文の著者である研究者として特定できることが基本的な要件の一つである。

多くの研究業績データベースで採用されている自己登録制は、著者特定のための名寄せは不要であるが、常に最新の状態に保つために多くの負荷が著者にかかっている現状であり、持続可能な仕組みづくりが必要とされている。一方、最新文献が収録される書誌データベースは、複数の著者が同じ表記になる同姓同名の問題、あるいは同一著者が複数の表記で発表される問題があり、著者それぞれの正確な文献リストを得ることは容易ではない。

正確な文献リストを得るには、「名寄せ」の仕

組みや作業が必須である。

2. Scopus 著者識別機能

エルゼビアは、早くから名寄せ問題を重要視し、その解決に取り組んできた。その製品化は、2006年に抄録・引用文献データベース Scopus (スコーパス)¹⁾の著者識別機能という形で行われた。

Scopus 著者識別機能は、著者の所属機関、分野、掲載雑誌、引用情報、共著者などの情報を元に高度なアルゴリズムを駆使して名寄せを行い、一意の著者 ID を付与するものである。最大の特徴は、Scopus に収録されている 5,200 万件以上のすべての論文を対象とし、どの著者に対しても名寄せ処理が行われていることである。この点は、著者が登録を行わないと名寄せされない他の多くのデータベースと異なる大きな強みである。

Scopus 検索ページの「著者検索」タブで著者の姓と、名またはイニシャルで検索すると、可能性のある著者リストが文献数の多い順に表示される（図 1）。このリストから求める著者名のリンクをクリックすると、著者プロフィールが表示される（図 2）。

Scopus の著者プロフィールには、Scopus の取

* Shoji TAKAHASHI and * Yuki TSUNEYOSHI
エルゼビア・ジャパン(株)
〒106-0044 東京都港区東麻布 1-9-15
E-mail : s.takahashi@elsevier.com,
y.tsuneyoshi@elsevier.com

The screenshot shows the Scopus search results page for the author 'Yamanaka, Shinya'. The search criteria are '著者の姓 "yamanaka", 著者の名 "shinya"'. The results are filtered to show 7/17 items. The first result is 'Yamanaka, Shinya' with 183 publications in 'Biochemistry, Genetics and Molecular Biology; Medicine; Multidisciplinary, ...' from Kyoto University in Kyoto, Japan. The second result is 'Yamanaka, Shinya' with 13 publications in 'Chemical Engineering; Energy; Chemistry; ...' from Doshisha University in Kyoto, Japan. The '著者プロフィールの統合を依頼' (Request to merge author profiles) link is circled in red.

図1 Scopus 著者検索結果リスト

The screenshot shows the Scopus author profile for 'Yamanaka, Shinya'. The profile includes the author's name, affiliation (Kyoto University, Kyoto, Japan), and Scopus ID (7202123309). Key statistics are displayed: 183 publications, 14954 citations, and an h-index of 56. The profile also shows a list of recent publications, including 'The let-7/LIN-41 pathway regulates reprogramming to human induced pluripotent stem cells by controlling expression of prodifferentiation genes' and 'The winding road to pluripotency (nobel lecture)'. The 'ORCIDに追加' (Add to ORCID) and '著者プロフィールの修正を依頼' (Request to correct author profile) links are circled in red.

図2 Scopus 著者プロフィール画面

録文献に基づいた研究成果の概要が表示される。この著者の発表文献一覧、著者が使用した参考文献一覧、総被引用数、著者の文献を引用した文献一覧、共著者、発表雑誌、*h-index* (論文数と被引用数から導き出す評価指標) などを確認できる。また、この著者の新しい文献が収録された場合、あるいはこの著者の論文が新たに引用された場合に電子メールで通知されるよう「著者をフォロー」することもできる。

3. Scopus 著者フィードバックフォーム

Scopus の著者識別機能は、高度なアルゴリズムを駆使し、高い精度の名寄せを実現しているが、完全ではない。そこで、Scopus では、著者本人が修正を依頼するための著者フィードバックフォーム²⁾を用意している。

これは、Scopus の契約の有無にかかわらず、無料で利用が可能である。Scopus の契約がある場合は、図1の「著者プロフィールの統合を依頼」リンク、図2の「著者プロフィールの修正を

Scopus Feedback

1 | Start 2 | Select preferred name 3 | Review documents 4 | Review profile 5 | Submit changes

Select authored documents by Saito, Misato

Please uncheck the documents not authored by Saito, Misato from the list of 4 documents by selecting the red cross-mark.

Sort by: Date (Newest) ▾

<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	Document Title	Author(s)	Date	Source Title
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	Low intrinsic running capacity is associated with reduced skeletal muscle substrate oxidation and lower mitochondrial content in white skeletal muscle <small>View in Scopus Show abstract</small>	Rivas, D.A., Lessard, S.J., Saito, M., Friedhuber, A.M., Koch, L.G., Britton, S.L., Yaspekis III, B.B., Hawley, J.A.	2011	American Journal of Physiology - Regulatory Integrative and Comparative Physiology 300 (4)
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	Activation of atypical protein kinase C ζ toward TC10 is regulated by high-fat diet and aerobic exercise in skeletal muscle <small>View in Scopus Show abstract</small>	Saito, M., Lessard, S.J., Rivas, D.A., Reeder, D.W., Hawley, J.A., Yaspekis III, B.B.	2008	Metabolism: Clinical and Experimental 57 (9), pp. 1173

図3 Scopus 著者フィードバックフォーム画面（文献リストの確認）

依頼」リンクからきめ細かな対応が可能である。

著者フィードバックフォームは、以下のステップからなる。

- 1) 複数の著者 ID に分かれている場合に、該当する著者 ID を選択する
- 2) 著者名に複数の表記がある場合に、優先名を選択する
- 3) 文献リストを確認し、不要な文献を削除または抜けている文献を追加する（図3）
- 4) 修正を Scopus に送信する

送信した修正依頼は、専門の修正チームに届き、変更が行われる。この修正には、従来は3～4週間かかっていたが、バックオフィスの作業体制を全面的に見直し、現在では平均2営業日程度に完了するように大幅にスピードアップしている。イタリアやポーランドなど、国としてこの著者プロファイルを利用するケースも増えてきており、2013年の一年間で約70万件の修正依頼があった。

4. Scopus から ORCID への文献取り込み機能

ORCID (Open Researcher and Contributor ID)³⁾ は、世界中の研究者に一意の識別子を付与することにより、名寄せ問題を解決し、各種の学術コミュニケーションを円滑にすることを目的とした非営利団体である。2012年10月16日に、誰でも登録が可能な ORCID Registry への登録申

請の受け付けが始まった⁴⁾。

エルゼビアは、ORCID のコンセプトに賛同し、創設メンバーの一員として開発に積極的に関与してきた。エルゼビアは、研究者が ORCID に文献を登録する負担を軽減し、登録を促進するために、ORCID Registry への登録開始と同時に、Scopus の論文データを ORCID に取り込むための連携ツール「Scopus to ORCID」⁵⁾を発表した。

ORCID が成功するには、研究者の ORCID ID が作成されるだけでなく、文献情報が実際に登録されることが不可欠である。Scopus to ORCID は、ORCID の開始時点では、外部のソースから文献リストを一括で取り込める唯一の連携ツールであった。このツールも、Scopus の契約の有無にかかわらず誰でも利用できる。ORCID に1論文以上登録しているユーザー11万人以上の約47%が Scopus to ORCID を使っている（2014年2月12日現在の社内データ）。

Scopus to ORCID の利用を開始する方法は2通りある。1つ目は、図2の著者プロファイル画面の「ORCID に追加」リンクから開始する方法、2つ目は、ORCID の登録画面で「Import Works」リンクをクリックする方法である（図4）。後者の場合、以下の連携ツールのリストが表示されるので、そこから Scopus to ORCID を選択する。

・ Australian National Data Service (ANDS)

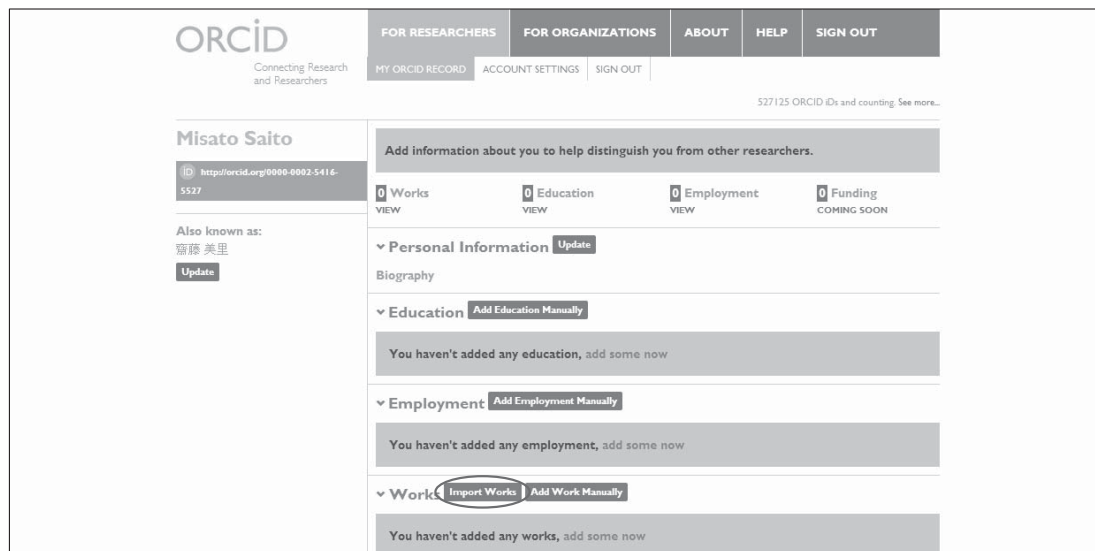


図 4 ORCID 登録画面

Registry

- ・ CrossRef Metadata Search
- ・ DataCite Metadata Store
- ・ Europe PubMed Central
- ・ ISNI2ORCID search and link
- ・ ResearcherID
- ・ Scopus to ORCID

この後のステップは、前述した Scopus 著者フィードバックフォームとほぼ同じであり、正しい文献リストを ORCID に取り込むと同時に、Scopus 本体にも修正依頼を送信することができる⁶⁾。

ORCID は、同じソースから取り込まれた重複データを自動的に削除する機能をもっているため、2回目以降も同じ手順で Scopus to ORCID を使用することにより、ORCID の文献リストを最新の状態に更新することができる。

5. ま と め

できるだけ多くの研究者の研究成果を一元管理するには、機械的な名寄せによるトップダウン的なアプローチと、個々の研究者自身が情報を入力するボトムアップ的なアプローチを併用することが理想的である。Scopus 著者識別機能と ORCID

の連携はまさにこれを実現させた好例といえよう。

研究助成金情報の一元化プロジェクトである FundRef⁷⁾も進捗をみている。今後、一元化された研究者プロフィールと研究助成金情報を組み合わせることによって、さらに多面的な研究業績の把握が可能となるであろう。

参 考 文 献

- 1) Scopus. (online), available from <http://www.scopus.com>, (accessed 2014-02-12).
- 2) Scopus 著者フィードバックフォーム. (オンライン), 入手先 <http://www.scopusfeedback.com>, (参照 2014-02-12).
- 3) ORCID. (online), available from <http://orcid.org>, (accessed 2014-02-12).
- 4) ORCID Launches Registry. (online), available from <http://orcid.org/news/2012/10/16/orcid-launches-registry>, (accessed 2014-02-12).
- 5) Scopus to ORCID. (online), available from <http://orcid.scopusfeedback.com>, (accessed 2014-02-12).
- 6) Scopus to ORCID の利用方法. (オンライン), 入手先 <http://www.elsevier.com/jp/online-tools/scopus/users/scopus2orcid.pdf>, (参照 2013-02-12).
- 7) FundRef. (online), available from <http://www.crossref.org/fundref/>, (accessed 2014-02-12).

(原稿受付: 2014.2.12)